

# 離床センサー

vol.88 2016.9

# 現場レポート!



離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します!



滋賀県・X病院様

● 製品：徘徊ナビ・ハイパー

滋賀県・X病院様の現場をレポート  
徘徊ナビ・ハイパーを使って、対象者を上手に見守る工夫を紹介します!

## 課題

転倒リスクが高く、かつ動きが速い対象者のトイレ行動に対応出来ないことがあり困っていました。

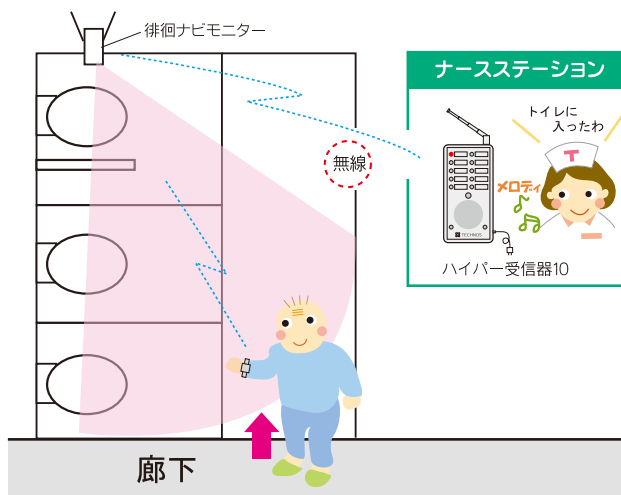
## 対策

対象者に「タグ」を付け、トイレに設置した「徘徊ナビモニター」に近付くと報知する「徘徊ナビ・ハイパー」を導入しました。



### ①タグを取付

トイレ行動を把握したい対象者の手首又は足首に「タグ」を取付けます。  
(対象者は自分でタグを外せません)



設置写真



②徘徊ナビモニターをトイレに取付けます。  
徘徊ナビモニターに近づくと専用受信器で報知します。

## 効果

タグを付けた対象者が共同トイレに入ったことをハイパー受信器10で報せてくれます。ナースステーションで報知を受けてトイレに駆けつければ、用を足す前や、便座から立ちあがる前にタイミング良く声かけや介助ができ、未然に転倒事故を防ぐことができます。



近づくと報知する  
「徘徊ナビ・ハイパー」

「徘徊ナビ・ハイパー」は出入口に設置し対象者の徘徊行動を報知するために多く使われていますが、今回は“近づくと報知”という特性を活かした、看護現場ならではの活用方法をご紹介します!